

計量行政審議会第1回 議事要旨

日時：平成13年7月18日（水）14：00～15：30

場所：経済産業省本館17F第1特別会議室

出席者

田崎会長、相上委員（代理出席奥秋氏）、青山委員、飯塚委員、今井委員、内田委員（代理出席新畑氏）、大井委員、大園委員、大西委員、小野委員、甲斐委員、佐久間委員、澤田委員、竹内委員、田畑委員、鳥井委員、沼田委員（代理出席市川氏）、濱田委員（代理出席川越氏）、宮下委員、矢橋委員、山田委員（代理出席伊藤氏）、吉岡委員

議題

- 議題1 計量行政審議会運営規程について
- 議題2 部会の設置と当面の審議予定について
- 議題3 その他

議事概要

- ・省庁再編後、第一回目の計量行政審議会の開催のため、新委員の紹介を行うとともに、会長代理として佐久間委員が指名された。
 - ・省庁再編等による審議会見直しの一環として、計量行政審議会の改組が説明された。これに対応するための計量行政審議会運営規程案について審議を行い、了承された。
 - ・部会の設置について、運営規程に規定により、従来の部会を踏襲する形で基本部会、計量標準部会、計量士部会が設置されることとなった。
 - ・部会長として、基本部会は佐久間委員、計量標準部会は大園委員、計量士部会は宮下委員が互選された。
 - ・計量標準部会に係る諮問事項については、内容の専門性の観点から、直接部会において審議を行い、その結果を審議会の意見とし、その後本審議会に報告することとなった。
 - ・経済産業大臣より規制緩和推進計画に基づく電気計器、皮革面積計の検定有効期間等の見直し等に係る諮問がなされていることが報告された。本件については技術的専門性等を勘案し、基本部会において本年度中に検討が行われることとなった。
 - ・今般の審議会の再編で、計量法の改正に関する審議については産業構造審議会で行われるよう整理がなされたことに関し、計量行政の専門的知見を有する計量行政審議会の意見が考慮されないのは不合理であり、何らかの形でこの点を考慮すべきである旨の指摘があった。
-